

博物館や美術館が守り、伝えようとする歴史や伝統、文化とはなにか  
ミュージアムの未来の可能性を探る

2024年4月初旬  
発売予定



# 未完の始まり： 未来のヴンダーカンマー

ガブリエル・リコ タウス・マハチェヴァ  
田村友一郎 リウ・チュアン ヤン・ヴォー

執筆：東浩紀(批評家、哲学者)、能勢陽子(豊田市美術館学芸員)

展示風景写真：ToLoLo studio

デザイン：米山菜津子(YONEYAMA LLC.)

テキスト：日本語／英語

判型：B5判変形(188 × 258 mm)／156ページ

特装ソフトカバー(並製スイス装+中綴じ、両観音表紙)

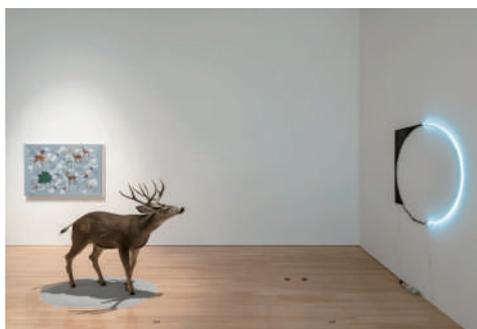
定価：本体3000円(税別)

## 展覧会

「未完の始まり：  
未来のヴンダーカンマー」  
会場：豊田市美術館  
会期：開催中-5月6日(月・祝)

世界中からあらゆる美しいもの、珍しいものが集められた「ヴンダーカンマー(驚異の部屋)」。15世紀のヨーロッパで始まったこの部屋は、美術館や博物館の原型とされています。それは、見知らぬ広大な世界を覗き見る、小さいながらも豊かな空想を刺激する展示室でした。しかしヴンダーカンマーには、集める側と集められる側の不均衡や異文化に対する好奇のまなざしも潜んでいました。グローバル化が進み、加速度的に世界が均質化していくなかで、今改めて文化や伝統とはなにか、また他文化や他民族とどう出会うかが問われています。5人の作家たちは、歴史や資料を調査・収集し、現代のテクノロジーを交えながら、時を超えた事物の編み直しを試みます。文化表象の実践の場としてのミュージアムの未来の可能性を探る展覧会「未完の始まり：未来のヴンダーカンマー」。

図録となる本書では、展示風景で構成されたカラーページと、論考や資料をまとめたテキストページを2つの冊子で別綴じにし、図版を見ながらテキストが読める造本により、展覧会の真髄をより理解できる仕上がりとなりました。



▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail:info@tsubamebook.com  
TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)

HeHe www.hehepress.com  
mail: info@hehepress.com

買切扱い

注文数

未完の始まり：  
未来のヴンダーカンマー

ご担当: 様

ISBN978-4-908062-58-2 C0070 定価:本体3000円(税別)